

# 平成26年度 定期作況報告

(10月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

9月下旬:平均気温は平年より0.1℃高く、降水量は平年の7%、日照時間は平年の133%であり、少雨、多照に経過した。

10月上旬:平均気温は平年より2.2℃低く、降水量は平年の147%、日照時間は平年の89%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

10月中旬:平均気温は平年より1.1℃低く、降水量は平年の104%、日照時間は平年の101%であり、低温に経過した。

以上、1ヶ月の平均では平均気温は平年より1.1℃低く、降水量は平年の85%、日照時間は平年の109%であり、低温、少雨に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	21.2	20.1	1.1	15.9	18.4	△ 2.5	14.2	16.2	△ 2.0	17.1	18.2	△ 1.1
最低気温(℃)	9.3	10.2	△ 0.9	6.5	8.7	△ 2.2	5.6	6.5	△ 0.9	7.1	8.5	△ 1.4
平均気温(℃)	15.1	15.0	0.1	11.1	13.3	△ 2.2	10.2	11.3	△ 1.1	12.1	13.2	△ 1.1
降水量(mm)	2.5	37.7	△ 35.2	56.0	38.1	17.9	34.0	32.8	1.2	92.5	108.6	△ 16.1
日照時間(hr)	72.4	54.5	17.9	43.4	48.8	△ 5.4	48.6	48.1	0.5	164.4	151.4	13.0

注)データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は平成16～25年の10ヶ年平均値。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作況

5月20日 やや良

事由:播種は平年より2日早い4月16日に行った。播種直後の4月4半旬はやや低温に経過したため、出芽始めまでに日数を要し、播種後6日目に発芽揃となった。その後は平年を上回る気温および日照時間で経過したため、苗の生育は進んだ。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時における苗は、茎数は「きらら397」、「ななつぼし」ともに平年並であった。葉数は「きらら397」が3.6枚、「ななつぼし」が3.4枚で、それぞれ平年に比べ0.4枚、0.3枚多かった。草丈はそれぞれ10.4cm、11.8cmで平年比100%、113%と平年並から上回った。地上部乾物重はそれぞれ2.45g、2.62gで、平年比118%、126%であり、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比118%、111%と、平年を上回った。すなわち、苗は平年に比べ葉数は多く、草丈は平年並から大きく、乾物重および充実度は優った。

以上により、5月20日時点の作況は、やや良である。

6月20日 やや良

事由:5月下旬から6月上旬にかけて高温、多照に経過したため、平年に比べ活着は順調で、初期分げつの発生が早く、旺盛であった。6月20日における草丈は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ131%、141%と平年を上回り、主稈葉数はそれぞれ平年より0.6、0.7葉多かった。茎数もそれぞれ135%、118%と平年を上回った。

以上により、6月20日時点の作況は、やや良である。

7月20日 やや良

事由:6月下旬から7月中旬にかけて、高温、多照に推移したことから、幼穂形成期は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」とも6日早く、止葉始は「きらら397」で7日、「ななつぼし」で8日早かった。そのため、7月20日時点ですべての品種も最高分げつ期、止葉期を過ぎていた。茎数は、「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ平年対比115%、102%と上回り、止葉葉数は両品種とも0.2枚下回った。草丈は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ115%、110%と上回った。

以上により、7月20日時点の作況は、やや良である。

8月20日 やや良

事由:7月下旬は高温に推移し、出穂期は、平年対比で「きらら397」が8日、「ななつぼし」が9日いずれも早かった。稈長は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ102%、96%とほぼ平年並で、穂長は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ105%、99%と平年並から上回った。穂数は、平年対比で「きらら397」が117%、「ななつぼし」が106%と、上回った。

以上により、8月20日時点の作況は、やや良である。

9月20日 やや良

事由:8月下旬以降の気温は低温で推移し、登熟日数は平年並からやや長かった。成熟期は、「きらら397」で9月13日、「ななつぼし」で9月10日と、平年に比べそれぞれ8日、7日早かった。一穂粒数は平年対比で「きらら397」が101%、「ななつぼし」は91%と平年並から下回った。m<sup>2</sup>当たりの粒数は、「きらら397」が平年対比118%と多く、「ななつぼし」は96%とやや少なかった。稔実歩合は平年に比べ「きらら397」は2.1ポイント低く、「ななつぼし」は1.8ポイント高かったが、登熟歩合はそれぞれ0.4、0.6ポイント低かった。そのため、m<sup>2</sup>当たり登熟粒数は、「ななつぼし」で平年の95%とやや下回ったが、「きらら397」で117%と大きく上回った。

以上により、9月20日時点の作況は、やや良である。

10月20日 やや良

事由:粗玄米重は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ70.2kg/a、62.6kg/aで、平年比115%、100%と平年並から上回った。千粒重は、平年比で「きらら397」、「ななつぼし」とも104%と平年をやや上回ったが、屑米歩合はそれぞれ平年を3.2、1.0ポイント上回った。その結果、精玄米重は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ63.6kg/a、57.9kg/aで、平年比111%、99%と平年並から上回った。

以上により、10月20日時点の作況は、やや良である。

注1) 作況指数(収量平年比)と作柄の判定基準 (農林水産省の統計基準による)

作況指数	~90	91~94	95~98	99~101	102~105	106~
作柄	著しい不良	不良	やや不良	平年並	やや良	良

項目	品種名・ 苗種	きらら397 中苗			ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗(参考)			空育180号 (参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年 (前5ヶ年)	比較	本年	
播種期	(月.日)	4.16	4.18	△ 2	4.16	4.18	△ 2	4.16	4.18	△ 2	4.16
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20
幼穂形成期	(月.日)	6.29	7.05	△ 6	6.27	7.03	△ 6	6.27	7.04	△ 7	6.27
止葉始	(月.日)	7.11	7.18	△ 7	7.08	7.16	△ 8	7.09	7.16	△ 7	7.09
出穂期	(月.日)	7.23	7.31	△ 8	7.21	7.30	△ 9	7.21	7.29	△ 8	7.22
成熟期	(月.日)	9.13	9.21	△ 8	9.10	9.17	△ 7	9.09	9.17	△ 8	9.12
穂揃日数	(日)	8.0	5.8	2.2	7.0	6.2	0.8	8.0	6.4	1.6	7.0
登熟日数	(日)	52	52	0	51	49	2	50	50	0	52
生育日数	(日)	150	156	△ 6	147	152	△ 5	146	152	△ 6	149
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.45	2.08	0.37	2.62	2.08	0.54	2.35	2.12	0.23	2.92
草丈 (cm)	移植時	10.4	10.4	0.0	11.8	10.4	1.4	10.3	10.5	△ 0.2	12.4
	6月20日	32.6	24.9	7.7	36.6	25.9	10.7	35.6	27.1	8.5	39.5
	7月20日	71.3	62.2	9.1	75.4	68.8	6.6	75.9	69.6	6.3	76.8
茎数 (移植時:本/個体 その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.1	1.0	0.1	1.0
	6月20日	440	327	113	375	319	56	488	328	160	355
	7月20日	908	787	121	823	805	18	960	837	123	893
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.6	3.2	0.4	3.4	3.1	0.3	3.3	3.1	0.2	3.1
	6月20日	7.7	7.1	0.6	7.5	6.8	0.7	7.5	7.2	0.3	6.9
	7月20日	10.8	10.9	△ 0.1	10.1	10.2	△ 0.1	10.1	10.6	△ 0.5	9.2
	止葉	10.8	11.0	△ 0.2	10.1	10.3	△ 0.2	10.1	10.7	△ 0.6	9.2
稈長	(cm)	66.5	64.9	1.6	67.6	70.6	△ 3.0	65.7	68.7	△ 3.0	71.8
穂長	(cm)	17.3	16.5	0.8	16.4	16.5	△ 0.1	16.2	17.1	△ 0.9	16.4
穂数	(本/m <sup>2</sup> )	810	690	120	763	723	40	893	734	159	833
一穂粒数	(粒)	47.7	47.4	0.3	47.4	52.3	△ 4.9	38.9	45.0	△ 6.1	44.3
m <sup>2</sup> 当粒数	(百粒)	386	327	59	362	378	△ 16	347	330	17	369
稔実歩合	(%)	89.0	91.1	△ 2.1	90.4	88.6	1.8	89.3	90.6	△ 1.3	90.4
登熟歩合	(%)	80.3	80.7	△ 0.4	80.2	80.8	△ 0.6	69.9	79.2	△ 9.3	87.4
籾摺歩合	(%)	75.0	76.7	△ 1.7	72.3	76.8	△ 4.5	71.1	75.3	△ 4.2	75.4
屑米歩合	(%)	9.4	6.2	3.2	7.5	6.5	1.0	11.4	7.7	3.7	9.0
千粒重	(g)	24.0	23.0	1.0	22.8	21.9	0.9	23.5	22.8	0.7	23.8
わら重	(kg/a)	70.8	61.6	9.2	68.6	69.6	△ 1.0	67.9	64.7	3.2	76.5
精籾重	(kg/a)	84.8	74.7	10.1	80.1	76.4	3.7	79.6	73.3	6.3	85.5
精玄米重	(kg/a)	63.6	57.3	6.3	57.9	58.7	△ 0.8	56.6	55.2	1.4	64.5
収量平年対比	(%)	111	100	11	99	100	△ 1	103	100	3	-
検査等級			2上	-		2上	-		2上	-	

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ななつぼし」の平年値は前7ヶ年中、平成23年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成21年より「ゆめびりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)本年より「空育180号」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)「ほしのゆめ」(中苗紙筒)の調査は、平成24年で中止した。

注6)耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=130cc/箱 栽植密度 : 30×13.3cm 25株/m<sup>2</sup> 4本植え

移植方法 : 手植え 反 復 : 2

注7)刈り取り面積は一區3.6m<sup>2</sup>。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.9mm。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

9月下旬：平均気温は平年より0.2℃低く、降水量は平年の2%、日照時間は平年の138%であり、少雨、多照に経過した。

10月上旬：平均気温は平年より2.3℃低く、降水量は平年の132%、日照時間は平年の96%であり、低温、多雨に経過した。

10月中旬：平均気温は平年より1.1℃低く、降水量は平年の99%、日照時間は平年の97%であり、低温に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より1.2℃低く、降水量は平年の75%、日照時間は平年の111%であり、低温、少雨、多照に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	21.2	20.1	1.1	15.7	18.4	△2.7	14.5	16.2	△1.7	17.1	18.2	△1.1
最低気温(℃)	7.9	9.3	△1.4	5.9	7.7	△1.8	4.1	5.2	△1.1	6.0	7.4	△1.4
平均気温(℃)	14.3	14.5	△0.2	10.4	12.7	△2.3	9.4	10.5	△1.1	11.4	12.6	△1.2
降水量(mm)	0.5	32.7	△32.2	40.5	30.6	9.9	26.5	26.7	△0.2	67.5	90.0	△22.5
降水日数(日)	1.0	2.7	△1.7	4.0	2.7	1.3	4.0	3.1	0.9	9.0	8.5	0.5
日照時間(hr)	71.8	52.1	19.7	43.6	45.3	△1.7	47.6	49.0	△1.4	163.0	146.4	16.6

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## 1. 秋まき小麦(平成26年播種)

平成26年9月20日作況：やや不良

事由：9月4半旬以降の降雨のため、9月20日現在で播種作業が終了していない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成26年10月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より4日遅い9月22日であった。播種後、気温は平年並に推移し、出芽期は平年より3日遅い9月29日であったが、出芽は良好であった。10月上旬以降、低温に推移しているため10月20日現在で草丈は平年をやや下回るが、茎数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H26.月.日)	9.22	9.18	4
出芽期	(H26.月.日)	9.29	9.26	3
出穂期	(H27.月.日)		6.6	
成熟期	(H27.月.日)		7.18	
冬損程度	(0:無～5:甚)		1.1	
草丈 (cm)	H26.10.20	16.2	18.2	△ 2.0
	H27.5.20		44.3	
	H27.6.20		97.8	
茎数 (本/㎡)	H26.10.20	573	590	△ 17
	越冬前(11月)		1179	
	越冬後(4月)		1684	
	H27.5.20		1275	
	H27.6.20		735	
成熟期に おける	稈長 (cm)		88.6	
	穂長 (cm)		8.7	
	穂数 (本/㎡)		680	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		0.4	
子実重	(kg/10a)		727	
容積重	(g/l)		810	
千粒重	(g)		38.4	
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成25年(最凶)、平成21年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

## 2. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月21日で、出芽期は平年と同日であった。「トヨムスメ」の主茎長は平年よりやや長い、「スズマル」の主茎長および両品種の主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由：開花期は平年より4~5日早かった。「トヨムスメ」の分枝数は平年より多いが、両品種の主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 良

事由：主茎長は「トヨムスメ」が平年より短く、主茎節数は平年並であり、分枝数は「トヨムスメ」が平年より多い。着莢数は平年比118~137%と多い。

以上により、現在の作況は良である。

9月20日 良

事由：「トヨムスメ」は主茎長が平年より短く、主茎節数は平年並であり、「スズマル」は主茎長が平年並であり、主茎節数は多かった。両品種ともに分枝数は平年より多く、着莢数は平年比128%~138%と多い。

以上により、現在の作況は良である。

10月20日 良

事由：成熟期が平年より「トヨムスメ」は1日遅く、「スズマル」は1日早かった。着莢数は「トヨムスメ」が平年より41%、「スズマル」は30%多かった。一莢内粒数および百粒重は両品種ともに平年並であった。子実重は着莢数が多かったことにより「トヨムスメ」は474kg/10aで対平年比124%、「スズマル」が466kg/10aで対平年比135%であった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ			スズマル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	△ 1
出芽期	(月.日)	6.2	6.2	0	6.2	6.2	0
開花期	(月.日)	7.10	7.14	△ 4	7.17	7.22	△ 5
成熟期	(月.日)	9.26	9.25	1	9.27	9.28	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	13.7	12.5	1.2	9.1	8.8	0.3
	7月20日	46.8	52.0	△ 5.2	38.8	42.1	△ 3.3
	8月20日	47.2	58.5	△ 11.3	65.2	64.8	0.4
	9月20日	47.7	58.7	△ 11.0	65.6	65.1	0.5
	成熟期	47.7	58.3	△ 10.6	65.6	66.3	△ 0.7
主茎節数 (節)	6月20日	3.4	3.2	0.2	3.6	3.5	0.1
	7月20日	9.5	9.8	△ 0.3	11.8	12.1	△ 0.3
	8月20日	9.7	9.8	△ 0.1	14.6	14.3	0.3
	9月20日	9.9	9.9	0.0	15.0	13.7	1.3
	成熟期	9.9	9.9	0.0	15.0	13.8	1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	8.2	6.3	1.9	8.2	8.8	△ 0.6
	8月20日	9.1	7.0	2.1	12.3	11.6	0.7
	9月20日	8.8	7.0	1.8	11.6	10.6	1.0
	成熟期	8.8	6.7	2.1	11.6	9.9	1.7
着莢数 (莢/株)	8月20日	94.1	68.8	25.3	171.6	145.1	26.5
	9月20日	86.6	62.8	23.8	163.5	127.8	35.7
	成熟期	86.6	61.5	25.1	163.5	125.9	37.6
一莢内粒数		1.79	1.81	△ 0.02	2.45	2.47	△ 0.02
子実重	(kg/10a)	474	382	92	466	346	120
百粒重	(g)	40.0	40.8	△ 0.8	15.0	14.8	0.2
屑粒率	(%)	4.3	2.0	2.3	1.8	1.5	0.3
品質	(等級)		3中			3上	
子実重平年対比	(%)	124	100	24	135	100	35

注) 平年値は前7カ年中、平成21年(最凶)、25年(最豊)を除く5カ年平均。

### 3. 小豆

6月20日作況 やや良

事由：播種期は平年より1日遅い5月26日であったが、その後、気温が高く推移したため、出芽期は平年より1日早い6月10日であった。現在のところ、主茎長、主茎節数ともに平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況 平年並

事由：6月下旬以降、気温が平年より高く推移したため、生育が進み、開花期は平年より5日早くなった。主茎長と主茎節数も平年を上回っているが、分枝数は平年より少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：主茎長が平年より短く、分枝数も少ないが、主茎節数は平年より多い。7月下旬以降の降雨で干ばつ傾向が解消され、気温も平年並に経過したため開花、着莢は順調に進み、着莢数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日作況：やや良

事由：成熟期は平年より3日遅い9月7日であった。成熟期における主茎長は平年よりやや短く、主茎節数が多く、分枝数は少なかった。着莢数が平年よりやや多く、一莢内粒数は平年並である。

以上により、現在の作況はやや良である。

10月20日作況：良

事由：子実重は平年比116%と多収であった。百粒重が平年並であり、屑粒率は雨害粒や虫喰い粒がやや多く、平年よりやや高かった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名		エリモシヨウズ		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.26	5.25	1
出芽期	(月.日)	6.10	6.11	△ 1
開花期	(月.日)	7.18	7.23	△ 5
成熟期	(月.日)	9.07	9.04	3
主茎長 (cm)	6月20日	4.2	3.7	0.5
	7月20日	25.2	24.3	0.9
	8月20日	57.8	65.4	△ 7.6
	成熟期	62.9	65.0	△ 2.1
主茎節数 (節)	6月20日	2.1	1.5	0.6
	7月20日	10.8	9.3	1.5
	8月20日	15.0	13.4	1.6
	成熟期	15.2	13.4	1.8
分枝数 (本/株)	7月20日	3.5	4.4	△ 0.9
	8月20日	3.5	4.6	△ 1.1
	成熟期	3.4	4.5	△ 1.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	64.7	55.6	9.1
	成熟期	57.3	53.9	3.4
一莢内粒数		5.69	5.67	0.02
子実重	(kg/10a)	338	291	47
百粒重	(g)	12.3	12.4	△ 0.1
屑粒率	(%)	4.3	2.9	1.4
品質	(等級)		3下	—
子実重平年対比	(%)	116	100	16

注) 平年値は前7カ年中、平成20年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。